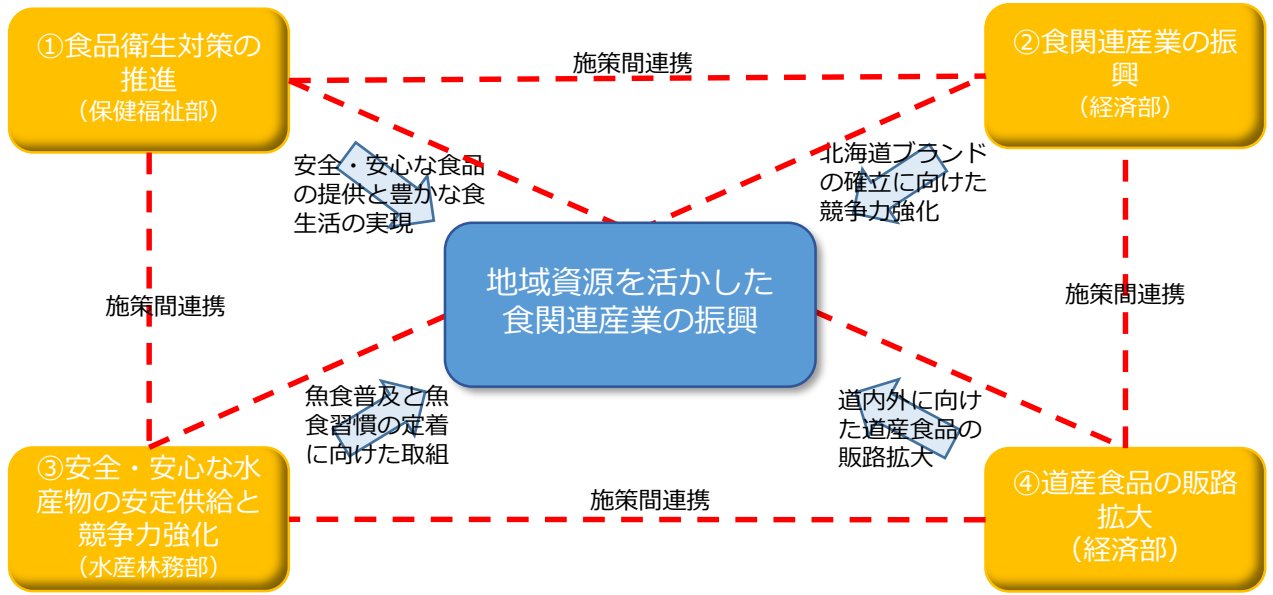


2 分野：経済・産業
 (2) 政策の柱：本道の優位性を活かした力強い地域産業の創造
B 政策の方向性：地域資源を活かした食関連産業の振興

【政策の方向性と施策の関係】



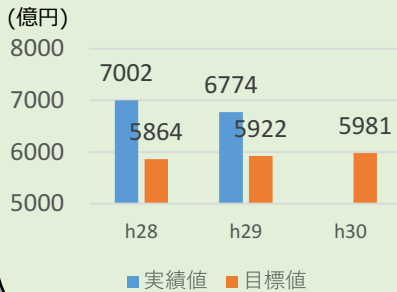
施策名	課題等	主な取組	総合評価
①食品衛生対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 食関連産業は、本道経済を支える産業として重要な役割を担っている 食品への信頼を揺るがす事件・事故が発生 	<ul style="list-style-type: none"> ○H A C C P に沿った衛生管理の導入を促進 ○食品等事業者への技術的支援や人材育成 ○道HACCPのマスコット「ハサブくん」を活用した普及啓発 ○北海道食の輸出拡大戦略推進本部に参画 	概ね順調に展開
②食関連産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> 本道の食品工業は素材提供型の色合いが強く、付加価値額は全国と比較して低い アジアを中心とした海外への販路開拓を進めることが必要 食を取り巻く環境変化への対応が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○道産食品の販路拡大や商品開発に向けた支援 ○醸造やマーケティング手法等を習得する機会の確保 ○新商品・新サービスの取組を支援拡大ほか6つの取組 	効果的な取組を検討し引き続き推進
③安全・安心な水産物の安定供給と競争力強化	<ul style="list-style-type: none"> 水産物の国内消費は減少傾向にあり、需給バランスの崩れなど、魚価への影響が懸念 輸入の増加に伴う国産水産物の消費や魚価への影響が課題 	<ul style="list-style-type: none"> ○水産物の消費拡大並びに魚食文化の維持発展 ○道産ブランドの普及・拡大 ○H A C C P 認定取得促進のための講習会を開催し、関連業者の意識向上ほか4つの取組 	効果的な取組を検討し引き続き推進
④道産食品の販路拡大	<ul style="list-style-type: none"> 本道の食品工業は素材提供型の色合いが強く、付加価値額は全国と比較して低い アジアを中心とした海外への販路開拓を進めることが必要 食を取り巻く環境変化への対応が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○連携・タイアップにより販路拡大事業を実施 ○「北海道どさんこプラザ」の運営を支援 ○道内企業の販路拡大・物産振興事業に対して補助を実施 ○首都圏において地域の食と観光を国内外の方々へPRを実施 	概ね順調に展開

【施策の詳細については、評価調書をご覧ください】

<総合計画施策推進状況>

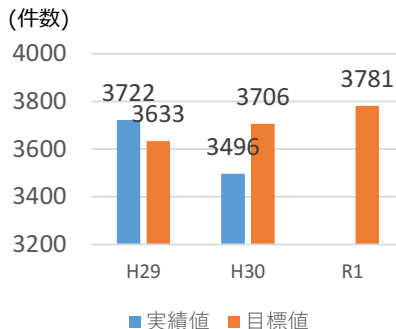
【総合計画の指標】

食品工業の付加価値額（億円）（暦年）
（施策①②③）



最終目標を既に達成しているが、数値の上下動があり、要因を分析の上今後の推移を見極める必要

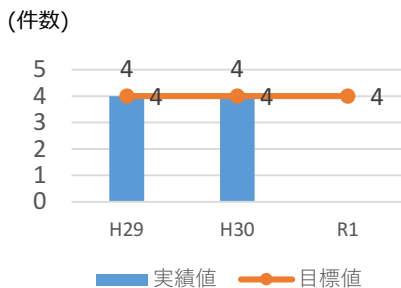
商談会等における国内成約件数（施策④）



道や関係団体等が主催する商談会については、出展企業数、参加バイヤー数が安定しており、概ね目標達成

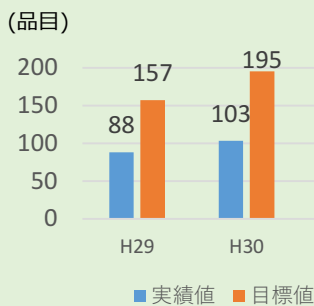
【関連指標】

農商工連携ファンドの助成金を受けてから3年以内に事業化した件数（施策②）



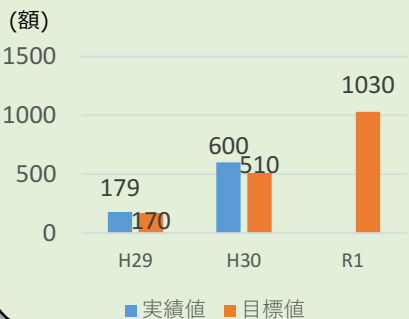
農商工連携ファンドを活用した企業等による助成対象事業の事業化が着実に推進

ヘルシーDo累計認定件数（品目）（施策②）



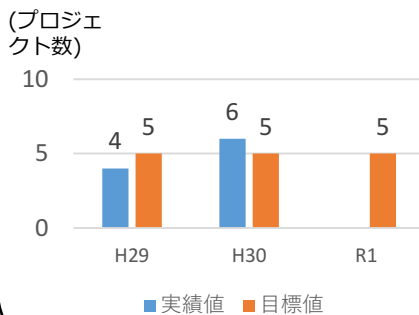
認定商品のさらに増加に向けて取組を推進

特区が関与した食品の輸出額・輸入代替額（施策②）



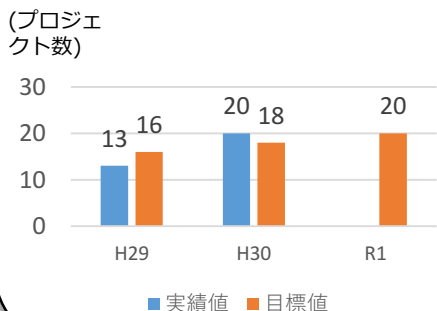
平成30年度は目標を達成

企業と一次産業との連携プロジェクト数（施策②）



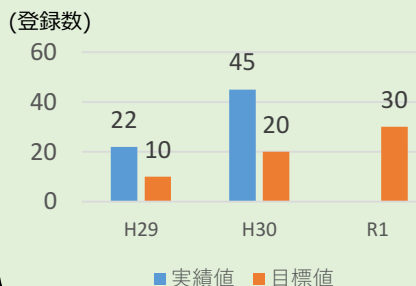
平成30年度は目標を達成

機能性素材の新規研究開発プロジェクト数（施策②）



平成30年度は目標を達成

輸出に必要な国際認証・登録等数（施策②）



平成30年度は実績値が目標値を大幅上回った。